

第19回日本社会福祉学会フォーラム

プログラム	
	総合司会: 倉田 康路 (西南学院大学人間科学部社会福祉学科 教授)
13:00～13:10	開会挨拶 日本社会福祉学会 会長 同志社大学社会学部社会福祉学科 教授 空閑 浩人
13:10～14:20	基調講演 「社会福祉における共生と連帯を考えるー法制度・政策の展開からー」 伊奈川 秀和 東洋大学社会学部社会福祉学科 教授
14:20～14:30	(休憩)
14:30～16:20	シンポジウム 「共生の実現に向けた社会福祉実践から地域共生社会を問う」 シンポジスト 藤村 昌憲 特別養護老人ホームなの国 施設長 藤田 博久 福岡市社会福祉協議会 事業開発課アドバイザー 鈴木 栄子 特定非営利活動法人ちくほう結 事務局長 上原 敬子 久留米市役所健康福祉部地域福祉課 主査 コメンテーター 伊奈川 秀和 東洋大学社会学部社会福祉学科 教授 コーディネーター 本郷 秀和 福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科 教授
16:20	閉会挨拶 日本社会福祉学会理事 (フォーラム担当) 福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科 教授 村山 浩一郎
16:30	終了

【登壇者プロフィール】 ※敬称略

【基調講演】

講師

伊奈川 秀和（いながわ ひでかず）

東洋大学社会学部社会福祉学科教授 九州大学博士（法学）。1982年東京外国語大学卒業後、厚生省入省。内閣官房内閣参事官、厚生労働省社会・援護局保護課長、年金局総務課長、参事官（社会保障担当）、内閣府少子化・青少年対策審議官、中国四国厚生局長、全国健康保険協会理事等を経て、2016年から現職。近著：『＜概観＞社会福祉・医療運営論』（信山社、2020年）、『社会保障の原理と政策』（法律文化社、2021年）、"La notion de solidarité au travers du système japonais de sécurité sociale" dans De la pauvreté à la protection sociale, Histoire et patrimoine, Mélanges offerts à Yannick Marec, Presses Universitaire de Rouen et du Havre 2022, pp.85-114

【シンポジウム】

コメンテーター

伊奈川 秀和（いながわ ひでかず）

コーディネーター

本郷 秀和（ほんごう ひでかず）

福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科教授。博士（社会福祉学）。社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、救急救命士、専門社会調査士。福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会会長、同地域福祉支援計画専門分科会会長、福岡県第9次高齢者保健福祉計画策定検討委員会委員長など。主な著書：『高齢者虐待と介護支援専門員』（中央法規、2020年）、鬼崎信好・本郷秀和編、『コメディカルのための社会福祉概論 第5版』（講談社、2023年）。

シンポジスト

藤村 昌憲（ふじむら まさのり）

東北福祉大学社会福祉学科卒業。福岡県立大学大学院修士課程修了。社会福祉士。
特別養護老人ホームなの国施設長、福岡県老人福祉施設協議会業務執行委員
福岡県介護保険広域連合地域密着型サービス運営委員

藤田 博久（ふじた ひろひさ）

明治大学法学部、日本社会事業学校研究科を卒業後、福岡県社協地域部長、筑穂町社協常務理事、飯塚市社協事務局次長、福岡市社協地域福祉部長として勤務。退職後、同会事業開発課業務アドバイザーとして現在に至る。大学等の非常勤講師、福岡県介護保険広域連合、福岡県・福岡市・飯塚市等の複数の附属機関委員を務め、現在は、福岡県生活支援コーディネーター研修講師団&アドバイザー、福岡県チームオレンジ・コーディネーター研修講師団（オレンジ・チューター）に就任し、政策提言、人材育成にも従事している。

鈴木 栄子（すずき えいこ）

日本福祉大学卒業。社会福祉主事、主任介護支援専門員、介護福祉士、認知症ケア専門士。
社会福祉法人瑞穂会瑞穂学園、民間企業を経て、現在特定非営利活動法人ちくほう結。
指定障がい者支援施設で重度知的障がい者施設の勤務を経て、平成12年からは介護保険法や障がい者総合支援法の居宅サービスとNPOの自主サービスを中心に地域で活動を行っている。

上原 敬子（うえはら けいこ）

久留米市役所で事務職20年。観光分野でまちづくり、税で市民対応、環境分野で内部調整に従事し、2019年から現職。プライベートでは、NPO法人理事として市民活動の楽しさと難しさを体感中。